

7-8 人と自然との触れ合いの活動の場

7-8-1 現況調査(既存資料調査、現地調査)

(1) 既存資料調査

① 調査方法

本事業の実施によって、工事中の工事用車両の走行、供用時の事業関連車両の走行に伴い、人と自然との触れ合いの活動の場へ間接的な影響を及ぼす可能性があることから、その影響を検討するため、人と自然との触れ合いの活動の場に関する調査を実施した。

既存資料調査の概要については、表 7-8-1 に示すとおりである。

表 7-8-1 既存資料調査の概要

項目	内容
調査項目	人と自然との触れ合いの活動の場の所在、交通量
調査地域	事業計画地及び走行ルート周辺
調査時期・頻度	最新の年度(令和5年8月閲覧)
調査方法	「和泉市観光特大マップ」、「岸和田市公式ウェブサイト」及び「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」を収集整理

② 調査結果

調査結果は、「第4章地域の概況 4-1 社会的状況 4-1-3 交通 (1)道路」(p46～p47 参照)「第4章地域の概況 4-3 自然環境 4-3-5 人と自然との触れ合いの活動の場」(p165 参照)に示したとおりである。

また、事業計画地及び走行ルート周辺の人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況及び走行ルート上の交通量は、図 7-8-1 に示すとおりである。なお、人と自然との触れ合いの活動の場の概要については、表 7-8-2 に示すとおりである。

なお、国道 170 号については、「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」(国土交通省ホームページ)より昼間の時間帯で 14,917～18,583 台の一般交通量であり、将来発生する事業関連車両(90 台)及び工事用車両(120 台)がすべて走行すると想定し交通量増加の割合を算出すると、将来発生する事業関連車両は 0.6%、工事用車両は 0.8%であった。

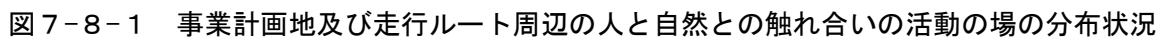


表 7-8-2 事業計画地及び運搬経路周辺の人と自然との触れ合いの活動の場の概要

名称	概要
コスモ中央公園	「テクノステージ和泉」内にある自然に囲まれた広大な公園である。園内にはジョギングロードをはじめ、ボール遊びができる大きなグラウンドやバスケットコートといったスポーツ施設、芝生広場や複合遊具、子供用遊具も完備されている。
阿弥陀寺	寺伝によると、奈良時代の僧行基が槇尾山に 37 日間籠り光明皇后の安産祈願をしたところ、無事出産されたので、櫻樹で仏像を刻みここに安置したのが始まりといわれている。四季を問わず安産祈願の参拝者で賑わっている。
いずみふれあい農の里	芋掘りをはじめ、みかん狩り、いちご狩りなど農業の魅力を体験できる四季折々の催し、地域の農産物を利用した加工体験やバーベキューなども楽しめる。また、農業に関する講座、野菜栽培講習、竹細工等の体験教室、野菜の収穫体験や収穫した野菜を使った郷土料理などを行い、農業を通じたレクリエーション活動や健康の増進などを図るための施設であり、農業の体験学習や農を通じた交流、グリーンツーリズムの活動の場として利用されている。
山直神社	旧山直郷の式内社で、国内神名帳従五位上山直社とし、山直の祖神をまつるものとみられる。長光寺という宮寺があったが、明治に廃された。一間社流造りの本殿は、桃山・江戸初期時代の改修と伝えられる。社殿は、大阪府指定の文化財である。
岸和田観光農園	ハウス栽培を行っているため、厳寒期の 1 月からイチゴ狩りが楽しめ、家族連れやグループに人気である。例年 5 月下旬頃まで、土曜、日曜、祝日のみ営業している。バーベキューとのセットプランやバーベキューのみでの施設利用も可能である。

注)「和泉市特大観光マップ」(和泉市)、「和泉の観ボラだより」(和泉観光ボランティアクラブ)、いずみふれあい農の里ホームページ、岸和田市ホームページを参考に作成

(2) 現地調査

① 調査方法

人と自然との触れ合いの活動の場の現地調査の概要は、表 7-8-3 に示すとおりである。

なお、「令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査」(国土交通省ホームページ)より国道 170 号の交通量から将来の増加割合を算出すると、将来発生する事業関連車両は 0.6%、工事用車両は 0.8%であったため、国道 170 号周辺における人と自然との触れ合いの活動の場への影響はないと考え、国道 170 号周辺の現地調査は実施せず、市道唐国久井線の近傍に位置するコスモ中央公園及び周辺の現地調査を実施した。

表 7-8-3 人と自然との触れ合いの活動の場現地調査の概要

調査項目	調査地域	調査時期・頻度	調査方法 (既存資料名)	調査時期
活動の場の利用状況	事業計画地及び走行ルート周辺の人と自然との触れ合いの活動の場	春季の平日・休日各 1 日間(昼間)	活動の場の利用人数のカウント及び聞き取り調査	平日： 令和 4 年 5 月 25 日 (水)7:00~19:00 休日： 令和 4 年 5 月 22 日 (日)7:00~19:00 の計 2 日間(春季)
交通量	人と自然との触れ合いの活動の場周辺の走行ルート断面		車種別・方向別交通量を目視観察により計測	

②調査結果

ア)利用状況

コスモ中央公園の利用状況の調査結果は表 7-8-4、聞き取り調査結果については表 7-8-5 (1)～(2)に示すとおりである。また、コスモ中央公園の概要は、図 7-8-2 に示すとおりである。

表 7-8-4 利用状況調査結果

調査時期	調査時間	駐車台数		利用状況
		北側	南側	
平日	8:00	3 台	7 台	休憩 4 人、散歩 1 人
	10:10	2 台	11 台	運動(バスケットコート)1 人
	12:20	8 台	14 台	運動(バスケットコート)1 人、休憩 6 人、遊具広場 8 人
	14:00	7 台	10 台	運動(バスケットコート)2 人、休憩 3 人、遊具広場 12 人
	16:15	6 台	8 台	運動(バスケットコート)14 人、運動(グラウンド)9 人
休日	8:00	2 台	7 台	運動(バスケットコート)8 人、運動(芝生広場)2 人、遊具広場 14 人、散歩 2 人、休憩 3 人
	9:50	6 台	11 台	運動(バスケットコート)11 人、運動(グラウンド)16 人、遊具広場 13 人、散歩 1 人、休憩 3 人
	11:50	7 台	8 台	運動(バスケットコート)7 人、運動(グラウンド)3 人、運動(芝生広場)3 人、遊具広場 10 人、散歩 6 人、休憩 14 人
	14:00	7 台	11 台	運動(バスケットコート)22 人、運動(グラウンド)11 人、運動(芝生広場)16 人、遊具広場 49 人、散歩 4 人、休憩 4 人
	16:30	4 台	12 台	運動(バスケットコート)17 人、運動(グラウンド)23 人、運動(芝生広場)5 人、遊具広場 47 人、散歩 1 人、休憩 2 人

注) 駐車台数及び利用状況については、調査時間における状況を示した。

表 7-8-5 (1) 聞き取り調査結果(利用目的)

単位：人

目的	休憩	散歩	遊び	バスケットボール	野球	サッカー	食事
平日	3	1	5	5	3	2	3
休日	1	4	13	5	4	6	5

注) 聞き取り調査は調査時間帯で 10 分程度行った。

表 7-8-5 (2) 聞き取り調査結果(利用頻度)

単位：人

目的	毎日	週 1～2 日	週 3～4 日	月 1～2 日	年 1～2 日	年 3～4 日	はじめて
平日	1	4	4	3	2	2	0
休日	0	7	0	11	10	4	2

注) 聞き取り調査は調査時間帯で 10 分程度行った。



図 7-8-2 コスモ中央公園の概要

イ) 交通量調査

コスモ中央公園周辺の交通量調査結果については、図 7-8-3 に示すとおり、平日 9,246 台/12h、休日 4,857 台/12h の交通量であった。

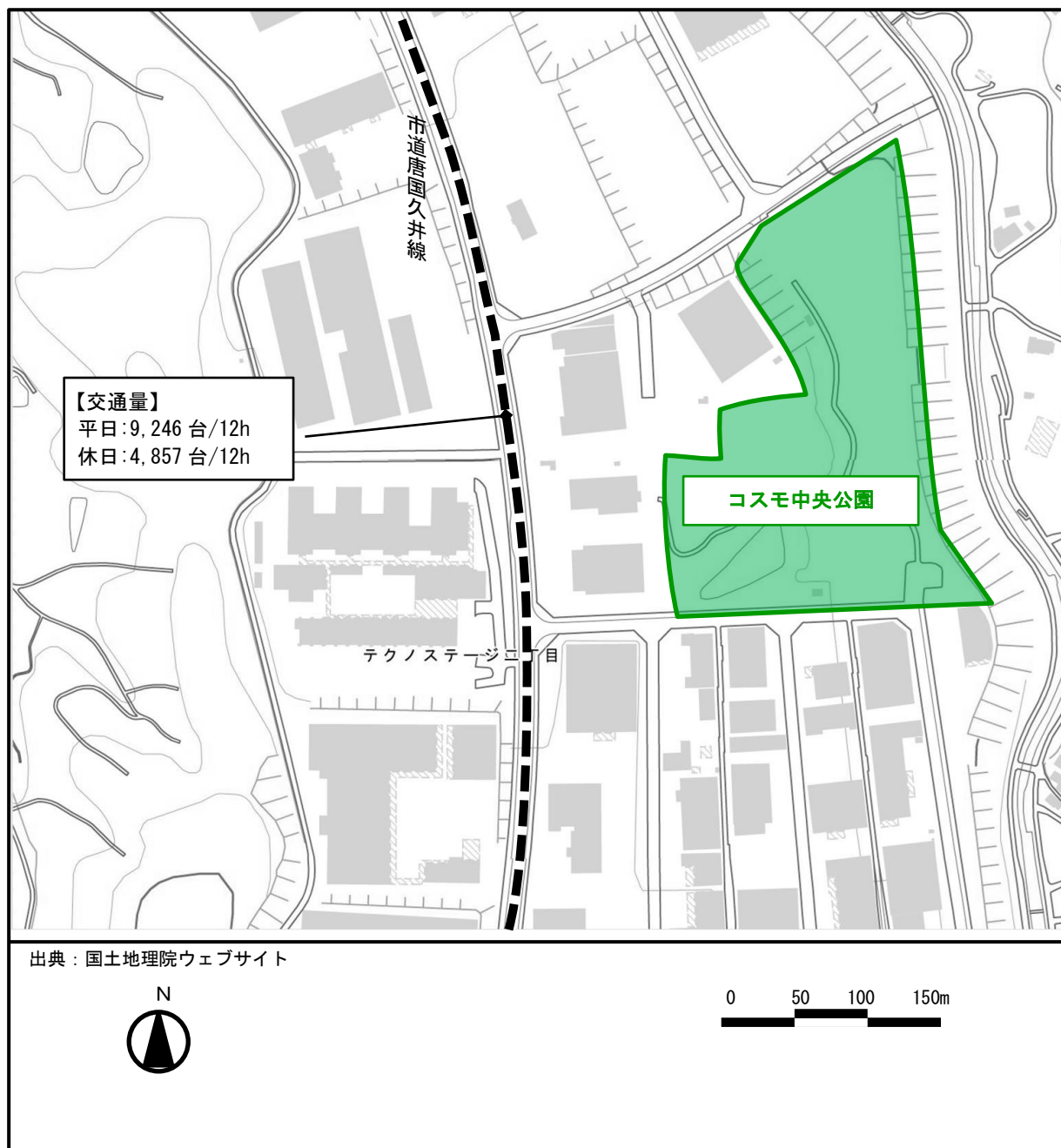


図 7-8-3 交通量調査結果

7-8-2 施設の供用に係る影響予測

(1) 予測方法

予測の概要については、表 7-8-6 に示すとおりである。

なお、予測地点については、調査地点と同じ地点とした。

表 7-8-6 予測の概要

項目	内容
予測項目	事業関連車両の走行による利用環境の変化
予測事項	変化の程度
予測方法	交通量変化による予測
予測地域	事業関連車両の走行ルートである市道唐国久井線
予測時期	事業活動が定常状態となる時期

(2) 予測結果

供用時の市道唐国久井線における交通量変化率については、表 7-8-7 に示すとおりである。

市道唐国久井線における供用時の事業関連車両の走行台数は 46 台(往復)の計画であり、交通量増加の割合については、平日 0.5%、休日で 0.9%となり、変化の程度は小さいと予測した。

表 7-8-7 市道唐国久井線における交通量変化率(供用時)

(時間帯：7～19 時)

予測地域		①現況交通量 (台/12h)	②事業関連車両 (往復台数/12h)	①+② (台/12h)	交通量増加 の割合 (%)
市道唐国久井線	平日	9,246	46	9,292	0.5
	休日	4,857	46	4,903	0.9

7-8-3 工事の実施に係る影響予測

(1) 予測方法

予測の概要については、表 7-8-8 に示すとおりである。

なお、予測地点については、調査地点と同じ地点とした。

表 7-8-8 予測の概要

項目	内容
予測項目	工事用車両の走行による利用環境の変化
予測事項	変化の程度
予測方法	交通量変化による予測
予測地域	工事用車両の走行ルートである市道唐国久井線
予測時期	工事用車両の影響が最大となる時期(新規焼却炉建設工事 11 ヶ月目)

(2) 予測結果

工事中の市道唐国久井線における交通量変化率については、表 7-8-9 に示すとおりである。

工事用車両の走行台数は、新規焼却炉建設工事 11 ヶ月目に最大となり、120 台(往復)となる計画である。すべての台数が市道唐国久井線を走行すると想定した交通量増加の割合は 1.3%となり、変化の程度は小さいと予測した。

表 7-8-9 市道唐国久井線における交通量変化率(工事中)

(時間帯：7～19 時)

予測地域		①現況交通量 (台/12h)	②工事用車両 (往復台数/12h)	①+② (台/12h)	交通量増加 の割合 (%)
市道唐国久井線	平日	9,246	120	9,366	1.3

7-8-4 評価

(1) 評価方法

予測結果について、表 7-8-10 に示す評価の指針に照らして評価を行った。

表 7-8-10 評価の指針

項目	評価の指針
人と自然との 触れ合いの活動の場	①人と自然との触れ合いの活動の場の保全と整備について十分な配慮がなされていること。 ②環境基本計画、大阪府環境総合計画等及び自然環境の保全と回復に関する基本方針等、国、大阪府、和泉市及び岸和田市が定める環境に関する計画又は方針に定める目標の達成と維持に支障を及ぼさないこと。

(2) 評価結果

①施設の供用に係る影響予測

施設の供用時における市道唐国久井線における交通量増加の割合については、平日 0.5%、休日で 0.9%となり、変化の程度は小さいと予測した。

また、新規焼却炉の稼働時において、現状ではこれまで外部に搬出していた可燃系廃棄物の一部を場内移動として新規焼却炉へ搬入するため、事業計画地全体として現状と比較して 9 台/日の増加に留まり、事業関連車両の影響はさらに小さくなると考える。

また、事業関連車両の走行における大気質、騒音、振動の影響をさらに低減させるための環境保全対策として、次に示す対策を講じる計画であることから、環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮していると評価する。

- ・自社及び持ち込み業者の廃棄物運搬車両等は、幹線道路を使用し、生活道路の通行はしないとともに、速度制限等の交通規則の遵守、不必要なアイドリングの禁止については、今後とも周知・徹底する。
- ・通勤車両についても、速度制限等の交通規則の遵守、不必要なアイドリングの禁止について周知徹底を図る。

以上のことから、評価の指針を満足すると考える。

②工事の実施に係る影響予測

工事の実施における市道唐国久井線における交通量増加の割合は 1.3%となり、変化の程度は小さいと予測した。

また、工事の実施においては、工事用車両は国道 170 号を含めた 4 つのルートに分散するため、市道唐国久井線における交通量増加の割合は小さくなると考える。

また、工事用車両の走行における大気質、騒音、振動の影響をさらに低減させるための環境保全対策として、以下に示す対策を講じる計画であることから、環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮していると評価する。

- ・工事の分散化、平準化を図り、工事機械の集中を避ける。
- ・工事用車両の退出時におけるタイヤ洗浄の実施や必要に応じてカバー等を使用することで粉じん発生・飛散防止に努める。
- ・工事用車両は、幹線道路を使用し、生活道路の通行はしないとともに、速度制限等の交通規則の遵守、不必要なアイドリングの禁止については周知・徹底する。

以上のことから、評価の指針を満足すると考える。